



実践型マインドリーダー 養成プログラム



レッスン 2 岸先生による Q & A

皆さんこんにちは、岸正龍です。

レッスン 2 も 12 月のお忙しい中たくさんの方に見ていただき、しかも熱い、濃いコメントをたくさんいただけて、非常にありがたく思っております。

今回、「人生をさかのぼってコミュニケーションをやり直したくなりました」という、嬉しいコメントをいただきました。

本当にこのセッションをやっていて良かったと思います。ありがとうございます。

先日、卒業生の方とお会いした時に「コミュニケーションに対する恐れがなくなり、チャンスが向こうからやって来るようになった」とのお声もいただき、本当に嬉しく思っています。

皆さんにもそのようになっていただければ、ということで、今回 8 個ほど質問をピックアップさせていただき、回答していきたいと思います。

どうぞよろしくお願いします。

■質問 1

相手が非常に無口で、あまり語りたがらない方の場合、どのように対応したら良いのでしょうか？

■回答

僕はしゃべる方で、相手がしゃべらないとちょっと自分の居心地が悪いというか、ワーンとしゃべるのに慣れていると、居心地が悪いといったことがあるのですが、僕もこのエニアプロファイルに出会うまではそう思っていました。

なので、余計しゃべって空気が悪くなるというか、居心地が悪いなという実感はあったのですが、ひょっとすると相手は無口でしゃべらない方が居心地がいいかも知れないんですよね、タイプによっては。

レッスン1でご紹介した中で言うと、シンカーの5とか、ピースの9とか、ワンダーの4は、あまりしゃべらない方が居心地が良かったりするところがありますので。

まず、自分が「居心地が悪い」と思っているのか、相手もそれに対して居心地がいいのかどうかというのを、興味を持って見ていただく、というのがいいのではないかと思います。

居心地の悪さが伝わっているのがあると思うので、もし質問できる関係であれば、聞いてしまうというのも手だと思います。

「なんか僕べらべらしゃべっているけど、ちょっと静かにしていた方がいい感じ？」とか、「いま言葉がなくて、ちょっと僕居心地が悪いと感じているところがあって、あなたはどうか？」みたいに聞いてしまう。

「僕はわからないので、あなたに合わせたいから教えて下さい」という気持ちで聞くということですね。これもいきなり聞いてしまうと「何この人？」みたいな心理的リアクタンスが出るので。

丁寧にやって、ある程度サブリミナルリンク、無意識の絆ができてから聞いてみるのはいいです。

いつもすごくしゃべる方だと、ちょっと静かにしているだけで、相手は「何でこの人は今日しゃべらないんだろう？」と思う可能性が高いじゃないですか。

その時には聞けますよね。「今日ちょっと静かにしているんだけど、この方がお互い居心地がいいかなと思って試してみたんだけど、どう？」と聞いてみるのは可能ですよね。そういった形で進めてもらえるといいと思います。

■質問2

嫌われてしまって関係を修復する時に使えるメソッドがあれば知りたいです。

■回答

ここからだけだとなかなか計り知れないところがあると思うのですが、「嫌われている度合いによる」としか言いようがないですね。

例えばよくある話で、男女の関係があるとして、喧嘩した、嫌われた、というものですが、まだ根本で繋がっている、お互い繋がっていたい、という一時の喧嘩であれば、修復することは充分可能だと思うのですが、完全に相手方が「絶対嫌だ」と思って（関係を）切ってしまう場合は非常に難しいですね。

これからメソッドというか、やり方をお話しするのですが、これが確かかどうかはお二人の関

係というか、男女じゃないとしても関係とか嫌われている度合いによるという前提は置かせていただくとして、レッスン3では各タイプの「地雷」というのをお話ししていきます。

「これをやっちゃうと絶対この人怒るな」みたいなものを知らず知らずのうちにやってしまっている可能性があるのではないかとことがあります。その場合には、それについて直接謝る、「全く気づかなくてごめんね」ということです。

例えばルーラーの方はルールを大切にするので、ルーラーと呼んでいるというお話をレッスン1でしたのですが、ルーラーの方が大切にしているルールって、僕らには全くわからないことがあるんですよ。

スリッパはきちんと揃えておきましょう、みたいなルールがあったとする。

いいじゃないですか、正直揃ってなくても。

いつもぐちゃぐちゃにされていて、自分としてはスリッパよりも大切なことはたくさんあると言っておざなりにしていると、ルーラーの方にとって「ものすごい地雷」ということで怒ってしまう可能性があるわけですね。

それがわかれば、「ごめんね。ひょっとしたら、今機嫌が悪くなっているあなたの心の中にはスリッパのこともあるかも知れないけど、僕は全く無意識でやっていて。悪気があってやっているわけじゃないんだけど、もしそのことであなたの機嫌が悪くなっているのなら、心から謝るので。今後キチンとスリッパを揃えるから、もう一回話すチャンスをもらえないかな？」みたいなことが言える可能性はありますね。

地雷は（踏まれると）一瞬で爆発するようなものですね。ただ、大人なので心の中では爆発しているけど、いきなり言われるのか、「さよなら」というメールが来るのかはわかりません。

自動反応的に爆発するということです。体の中では必ず反応しているんです。

それがどう出てくるかはわからない。ひょっとしたら他のタイプの方で、積み重なった感情が爆発している可能性もあるので。ひとつには特定できないかも知れません。

なので、なぜ嫌われてしまったのかということを、まず相手に興味関心を持って考えるということです。「自分のどの態度、どの言動が、関係がこじれる原因になっているんだろう？」と考えていただくのがいいんじゃないでしょうか。

自分以外のタイプのことはわかりません。

「そこじゃないんだよ！」みたいな感じで余計火に油を注ぐようなことはありますね。

これを聞いて「そんなこと言っても、プロファイルできなかったらどうするんだ？」ということも出てくると思うのですが、「これじゃないかな？」というのはいくつか思い当たると思います。そうしたらみんなやればいいんです。全部それに対して謝ってみるというのがいいと思います。相手をプロファイルするのが目的ではないので。関係を修復することが目的であれば、全部やってみるのがいいのではないかと思います。

長年関係がこじれていた夫婦が仲良くなるくらいなので。

■質問3

メールや SNS など、表情や話すペースでタイプ判断がしにくい場合はどうすればいいのか教えて欲しいです。

■回答

確かにこれは興味がありますよね。相手からメールが来る、相手からショートメールが来る、それによってどう判断するかということですよね。

これは今のところ研究中で、こういう風にすればいいというのがなかなか言えない、というのが実情です。と言うのも、メールやショートメールって、紋切り型が多いじゃないですか。

「いつもお世話になっております」。あとはつらつらと、書き方に沿って書く、といったものがありますし、特にショートメールは短い言葉、短く送らなければいけないので、役割とか習慣的性格で送られてくる場合がほぼほぼなんですね。タイプ間の差が少ない。

なくはないですが、少ないので、メールやショートメールでは判断しにくいです。もしその方の SNS、Facebook とか Twitter とか Instagram がわかれば、そこからは充分にプロフィールできます。

例えば SNS を見ていただいた時に、やたら自撮りが多ければクールっぽいとか、ファンラバーっぽいとかいう感じもありますね。それがある塾で「自撮り写真をバンバン出しましょう」と教えてもらって出していると、それは「役割」なのでプロフィールしづらいのですが。その他のところから見てもらって、地なのか、あるいはマーケティングなのかというところから判別していくという感じでしょうか。

あと、こちら側から出していく「文章術」というのはありますので。

タイプが分かっている方へどういうメッセージを使うかというのは、次回のコメント特典3でお伝えしていますので、それも楽しみにお待ちいただければと思います。

■質問4

理論的には納得するのですが、覚えることが多すぎて自分には無理だな、と現状では思っています。

■回答

ありがとうございます。この「ザ・サブリミナル」というものの自体、僕の人生の大半をかけて

練り上げてきているプログラムだということがあるので、確かに膨大だと思います。

でも、僕はこれを覚えてもらうためにお話しをしているわけではなく、使ってもらうためにお話ししていますから、何か 1 個、「あ、これだったらできそうだな」というのはあると思います。それをやっていただきたい、というところです。

できるようになると、次も連鎖的にできるようになっていくので。

例えば、「どういう風にプロファイリングしていくのか？」ということに関して、説明会でも色々お話ししていきます。今 9 タイプをドーンとお伝えしているのですが、実はもうちょっとメカニカルにプロファイルしていく方法があるんです。

なので、それを使っていけばもう少しプロファイリングも楽になりますし、そうでなくてもレッスン 2 でお話しした内容をやっていただくだけで人間関係が変わりますので。全部やっていただかなくてもいいです。1 個、何かからとりかかっていただきたい、というのが心からのお願いです。

例えば、人と話をする時に、スマホを持ちながら話をしないとか。スマホを持ちながら返事をしない。スマホから視線を切って相手を見て「そうだね」って言うだけでもいいです。

スマホを持ちながら「そうだね」と言うのと、スマホを下ろして「そうだね」と言うのと、これだけで相手に与える影響が全く違います。

それだけをまず注意するとか。本当に細かいところからやっていただくことはたくさんあると思います。

これを見ていただいた今から「これだけやってみよう」というのを課題のように書いていただき、取り組んでいただければと思います。

今まで相手に興味関心を持って話を聞いていなかったなという体感覚があれば、もっといいですね。

■質問 5

タイプは変わることもありますか？例えばこれまでファンラバーだったけれども、あるできごとや経験をきっかけにそれからはルーラーになったということはあるのでしょうか？

■回答

エニアプロファイル自体はエニアグラムというものをベースにしているのですが、エニアグラムの原則 1 のようなものに「タイプは生まれた瞬間に決まっていて、それは死ぬまで変わらない」というものがあり、タイプ自体が変わることはありません。

ただ、エニアプロファイル的に言うと、できごとや経験が大きければ大きいほど、役割的性格が鎧（よろい）のように厚くなるできごとはあると思います。

なので、そこで違うタイプに見える可能性は充分にあります。

具体的に言うと、女性の方だったとして、ファンラバーとして自由奔放に、好きなように生きてきた方、いらっしゃらないと思いますがサザエさんみたいな感じですね。自由奔放に生きてきて、夜も本当に自分の好きな時間に帰って、みたいな方が、お子さんができたという経験をした時に、自由奔放をやめてお子さんのためにキチンと時間を守り、自分に対しても厳しい毎日を送るようになると、パッと見、ファンラバーには見えませんよね。ルーラーに見えたり、バランスーに見えたり、他のタイプに見えたり。ひょっとするとクールに見えたりということがあるかも知れません。

気質の部分の「ファンラバー」は変わっていないということです。お子さんを心を込めて育てようという、心が違うように見せているということはありません。

今の例で言うと、ファンラバーの方ではなくてキチンと育てられているルーラーに見えるようなことがあるとすると、「素晴らしいですね。しっかりお子さまを育てられていて。正しいご教育をされているということに敬服します。」とか、「すごいと思います。」といったことを言われると嬉しいですね、役割で育てているので。

なので、自分がそう思って厚く見えるのであれば、そこをプロフィールするのは効果的だと思います。

ルーラーに見えていても、もともとファンラバーかな？という気質がちょこちょこ見えたりしていたら、ファンラバーのところもケアするということですね。ひとつにしばってそこだけ行け、というものではないので。2個見えたなら2個対応するという事です。

何回かいろんなところでお話ししているのですが、当てっこではない、プロファイリングゲームではないということです。お互いのコミュニケーションをうまくしていくテクニックなので。

違ったタイプのキラーアクションをして、それが大きなマイナスになるということはありませんので、「こうかな？」と思ったら、ひとつひとつ試していくのも手だと思います。

■質問6

本書の中で気質、狭義の性格は変えられない性格で、習慣的性格、役割性格は環境や役割によって変わると書いてありましたが、年齢でも習慣的性格、役割性格は変わるのでしょうか？また、どのように相手を定義し直せば良いのでしょうか。

例として、今の気質がビッグボス、狭義の性格がスマイリー、習慣的性格がワンダー、役割性格がクールの人が、1年後に気質がビッグボス、狭義の性格がスマイリー、習慣的性格がバランスー、役割性格がピース、という場合はあるのでしょうか？

■回答

本書というのは「登録特典（プレゼント）の『禁断の心理話術エニアプロファイル』」、読んでいただき、あとは動画も見ていただいたりしたのかなと思いますが、非常にしっかりと研究されているというか、学んでいただいているということがわかります。ありがとうございます。

その中でいくつかお伝えしたいことがあるのですが、最もお伝えしたいことは、もう少し緩い感じで考えていただけると嬉しい、ということです。人間はこんな風にきちんと定義できないと思います。エニアグラムではそうは言ってないですし、エニアプロファイルでも言ってないことです。

気質はこれ、狭義の性格はこれ、習慣的性格はこれ、役割性格はこれ、というのは、僕は今まで何千人というプロファイルをしてきましたが、ここまできれいにわかることはないですね。

例えば、ある一人の人間の中に、ここかも知れない、ここかも知れない、と2つ揺れているものが出てきたとして、どっちが気質でどっちが気質でないかはわかりません。

深くつき合えばわかりますが。それがわかるためにはかなりの時間、相手と過ごしていかなければいけないということになります。

具体的に言うと、お仕事のつきあいの中でいろんな面が見えているということになると、仕事のつきあいなんです、それは。

仕事のつきあいというファクターの中でいろんな面が見えているということであって、その人はご家庭では全く違う型かも知れませんよね。あくまでもこの（仕事上のつきあいの）面しか見れていないわけです。でもこの面だけでも二面性があったりするわけですよね。ここは気質じゃないかも知れない。気質はこっちにあるかも知れないということになってくると、ここを知るためには、よほど近い関係になっていくか、「ザ・サブリミナル」の中には上のコースで「マスターコース」という、エニアグラムのタイピングをしていくコースがあるのですが、特殊な質問技能を身につけないと、なかなかここはわからない、ということがまずあります。

なので、気質はこれ、狭義の性格はこれ、という風な定義は、まず不可能だと僕は思うので、まずここをわかっていただけると嬉しいなと思います。

プロファイルする、定義するというのも僕としては、お書きになっている時は何の気なしにお使いいただいた単語だと思うのですが、相手を枠に決め込んでしまうのは僕の意図ではないという感じです。先ほどもお話ししましたが、コミュニケーションをして、お互いにいい方向に進んでいくというのが僕のお話ししたいところなので、プロファイルはもっと気軽にやっていただきたいなと。

ビッグボス、スマイリー、ワンダー、クールの4つに見える、これが例だとして、4つに見え

るというのは、まだあまり相手のことに興味が行っていないのかなと。ひとつひとつのものを取って、ここはビッグボスのだ、ここはスマイリー的だ、ここはワンダー的だ、ここはクール的だという、局面でご判断されている可能性もあるじゃないかなと思います。

多くあるのが、全くわからなくても近いタイプ3つ、みたいなのが、プロフィールをしているところでよく出てくる場所なので。

ビッグボスとワンダーというのはほとんどリンクしないところがありますから。これは例かも知れませんが、興味を持ってみていただいて、2つか3つかなと思ったら、全部対応していただければいいのではないかなと思います。

ここで言うより説明会で体感していただく方が確かにわかりやすいというのがありますので、もしお時間の都合が許すようでしたら説明会にお越しいただけると「こういうことか!」と、わかっていただけるのではないかなと思います。

あと、関係性ができている方よりも、初対面の方に第一印象でプロフィールした時の入り方が違うのは理由があって、余分な情報がないからなんです。

余分な意識の情報がないので、初対面でこの人がどういう人ですか?という、その人のあり方、その人の雰囲気とかたまたまいとか、ちょっとした行動から、自分が持っている無意識のデータベースにアクセスしていくんですね。

無意識のデータベースってビッグデータみたいなものなので。本当にいろんなデータが入っているところから、過去の自分の経験を踏まえて、そのデータの中から「こういう風に見える人はこのような可能性が高い」というのを引っ張り出してくるのです。なので、ほとんどそのデータは正しいということなのです。エニアプロフィールでも、最初は「こういうような方はこんな方だ」というお話しをしていますが、それは理論付けしているだけで、僕らの無意識の中に入っているビッグデータは似たようなところを持っているということなんです。頭で、言葉で考えれば考えるほど、プロフィールもズレていくという恐ろしさはあります。

こういうお話しをしていると、「考え過ぎちゃっているよ!」という、ディスっているように聞こえてしまったら申し訳ないと思うのですが、ここまで深く学んでいただいているのであれば、ちょっとそこを緩めていただくだけで、実際には使いやすくなるという話なのです。学ぶ時はグッと深く学んでいただいて、実際に使うときはそこをちょっと緩めていただく。自分の直感を信じていただくのがいいと思います。

■質問7

ウマが合わない方への対処法や苦手な方への対応の仕方を教えてください。

■回答

ありますよね、僕もあります。苦手だなという方はあります。その時最初に考えていただきた

いのは、その人とどれくらいの対応をしなければいけないのか？すごく仲良くしなければいけないのか、まあまあ、うわべ一辺の会話をしていけばいいのか、通り過ぎていくのか、ということ、まず考えていただければいいと思います。

うわべ一辺であれば、大人なので対応できると思いますので。

自分の心の中には入らない、相手の心の中にも入らない、という対応ですね。

「おはようございます」「おはようございます」「今日もいい天気ですね」「いいですね」みたいなことで流れていくのであれば、それでいいのではないかと思います。苦手だろうが何だろうが、あいさつができる関係。

逆に、「苦手だな、ウマが合わないな」というのが相手に伝わってしまう方が、人間関係がうまくいかなくなったりするので。

当たり障りのない会話をしていて、相手をもっとこっちに近づいてきたいのであれば、相手からアクションがあるはずなので。でも当たり障りのない会話をしていて、相手も当たり障りのない会話で成り立っているのであれば、そこはそういう関係でいいと思います。まずそこを考えていただいて、「いやいやそうじゃないんだよ。もうちょっと深く付き合わなければいけないんだけど、ウマが合わない、苦手な人だから何とかしたいんだ！」という話になってくると、考えていただきたいことが2つあります。

まず、過去にウマが合わないとか苦手だと思った方のプロフィールをしていただきたいんです。ある一定の傾向があるという場合と、全く（傾向が）ない、全然違うという場合で対処法が違います。ある一定の傾向があるという場合は、それに対するプロフィール、やっていくキラーアクションや地雷ワードを学んで使っていただければいいと思います。

レッスン3を見ていただいて、早速使っていただければいいと思います。

もう1つがタイプに関係なく、エニアグラムでレベルと言っているもの、相手にすごくストレスがかかっていて、かまってちゃんとか押しつけがましい人になっている場合は、タイプに関係なく「ちょっとウマが合わないな、苦手だな」と感じるが多々あります。

僕の経験上、自分と同じタイプでレベルがすごく低い人は非常に嫌な感じがします。自分の嫌な面を見ている感じなのです。その場合にどうするかというと、エニアプロフィールの考え方で「自分はコントロールできるけど、相手の内部をコントロールすることはできない」というのがありますから、相手が、自分の中で上がってきてくれるのを待つしかないんです。

対応できる方法としては、「ちょっと今疲れているみたいだから少し休んだら？」とか、「リラックスするって、いつも何やってる？」と聞いてあげる、みたいな。「リラックスしてくださいね」というのをいろんな方法でお伝えするということがしかないかなと思います。

相手がちょっとレベルが下がっていてこちらが付き合いにくいと思ったら、「あ、今相手はレ

ベルが下がっているので、今いろんなことを言っても無理だな」ということがわかるようになります。

レベルが下がっている時は当たり障りのない会話をしておいて、少しケアしてあげるような言葉かけをしていて、レベルが上がってきたらまた話をするというようなことができるようになると思います。

どうしてその人がそのような態度や言動を取るかがわかるようになるんです。「ザ・サブリミナル」では、無料セッションの中では時間が足りなくてお話しできないのですが、例えばルーラーだったら「なぜルーラーの人が正しいことをやりたいと思うのか？」という、根本的な部分の説明をさせてもらいますね。何があってそうなるのかということ。そうすると、そこが理解できるので。根本が理解できるから、「今この人がこういうことを言っているのはここが反応しちゃっているんだな」と。「ここが反応しちゃって言動としてこういうのが出ているんだな。この人も大変だな。」とか、「なるほど、わかるな」といったものがわかってくるというのが1つ。

もう1つ、タイプによって出方があります。悪い方向の出方があるので。これに対応できるようになったり、理解できるようになったりして、「今こういう風になっている。愛しいな。」とか、腹が立たないようになります。理解できるから。

訳が分からないものって理解できないから感情が揺れるのですが、腹落ちしていれば、「そうかな。」とわかるので。嫌な人がいなくなったということだと思うんです。

これを聞いていただいた方で「レベルって何だ？」という方がいらっしゃるかも知れませんが、ストレスのレベルです。レベルが下がってくると自分がめんどくさい人間になってしまっているという感じで。レベルは1日のうちで上がったり下がったりすることがあり、そのコントロール方法も本編では全てお伝えしていくという感じです。

■質問8

複数回人に会うと、何となく避けられているという印象を受けます。そんなに話したこともないのですが、理由がわかりません。どのような理由が考えられるでしょうか。

■回答

このご質問もどういう状況か、ちょっとイメージしづらいので、今からお話しすることがフィットするかどうか、自信がないところではあるのですが、本当に避けられているのかな？というのがまずあります。

避けられているような感じを受けている。けれども、ひょっとすると相手の方にはその距離感が心地いいのかも知れない、ということがまずあると思います。「人間関係はこうあるべきだ」とか、これが心地いいと思っていることと、相手の方の距離感が全然違うということは、充分あります。

例えて言うと、スマイリーの方はものすごく距離感近いんです。濃密な、グッとした人間関係が自分にとって心地いいとを感じるので。ビッグボスの方もそうなのですが、かなり濃密な人間関係というものを求めになるのですが、他のタイプの方はもっとあっさりしています、人間関係が。その方が心地よかったりするんです。

なので、スマイリーやビッグボスの方にとっては、その他のタイプの方の接し方は物足りない、避けられている感じがすることもあります。それは避けられているのではなくて、自分がちょっと濃い感じということなのですね。なので、その可能性もありますし、あるいはひょっとすると、レッスン3でお話しする「相手に関わろうとするあまり、地雷を踏んでしまっている」という可能性もあります。

対応としては、本当に避けられているかどうかを、まず興味を持って見ていただくというのが第一歩ですね。そこからじゃないと、「何をしようか？」と考えると自分のところに興味関心が来てしまうので。

「これやろう、あれやろう」と思えば思うほど、本当に避けられているのか、避けられていないのか、避けられているのだとしたら、どう避けられているのか？ということですね。自分の話をし始めたら、相手が「話をしたくない」と思ってクルッと向こうを向いてしまうくらい完全に避けられているのか、ある特定の話をした時に、話をそらされるのか、あるいはみんながいるところに自分が行くと、輪が解ける感じなのか。「何なのか？」というのを興味を持って探ってみるということですね。それも1対1の関係においてあるのか、複数の関係においてあるのか、ということもありますので。

どんな感じなのか、その複数回というのも2、3回なのか5、6回なのか、ということですね。初回はいい空気で2回目いきなり避けられるのか？ということは、初回と2回目に会うときに、違うアクションをしているのかしていないのか？ということですね。

何か感じられているということであれば原因はどこかにあるということなのですが、ここからだてピンポイントのお答えは難しいと思いますが、もし避けられている状況を、相手に興味を持って見ていただいたり。

過去を振り返るのはあまり良くないんです。なぜかと言うと、すでにフィルターがかかっている。自分の過去を振り返ると、自分はこうであろうと思うところを探しに行くじゃないですか。きっと私のそそっかしいところが相手に避けられているんじゃないかなという、自分に無意識的な思いがあると、そそっかしい場面をピックしてきちゃうので。そこに寄った情報しか出てこなくなるんですよ。

なので、過去を振り返ることはオススメしないですね。というのが、避けられている方がいら

っしゃるとしたら、当たり障りのない会話をしながら、「どんな感じなんだろう？」というのを、興味を持って見てみるのがいいと思います。

できればそういった形で探っていただいて、レッスン3でもう一度ご質問いただければと思います。

もう少し細かい状況をいただけると、もう少し細かいお答えもできますので。
よろしくお願いいたします。

*

*

*

今は覚えることがたくさんあり過ぎて、ちょっと手に余るぞ、とお感じになっている方もいらっしゃると思うのですが、実際プログラムが始まると、ステップバイステップで全部お渡ししていくので、終わった時には自然にできるようになっているということになります。

なので、プログラムに参加していただければこんな嬉しいことはありませんが、参加していただかない場合でも少しずつ積み上げていくということがだいじだと思います。

最後までご視聴いただき、ありがとうございました。